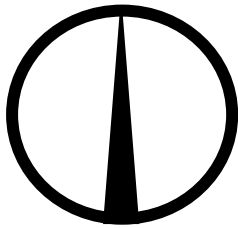


# 概 要

登別市にはじめて開拓の鋤が入れられたのは明治2年。仙台藩白石城主の片倉一門が入植したときにはじまる。

以来、風雪140余年。昭和45年8月に道内30番目の市として市制を施行するとともに、名湯登別温泉を有し、年間300万人の観光客が訪れる国際観光都市として、工業都市室蘭のベッドタウンとして道内35市の中堅都市として発展を続けてきた。

# 地 勢



市 章  
S. 36. 10. 1制定

本市は北海道の南西部に位置し、東南は洋々たる太平洋に面し、東は登別漁港・クッタラ湖付近などで白老町と接し、北はオロフレ峠・来馬岳・幌別岳を結んで壮瞥町に接している。さらに、西は鷺別岬から鷺別岳・アソイワ岳にかけて室蘭市・伊達市に隣接している。

地勢は大別して、内陸地帯と海岸地帯に分けられ、平坦地は海岸線に沿った部分のみで、他は丘陵起伏をなした山岳地帯となっている。

位 置		広 ぼ う		面 積
東 経	北 緯	東 西	南 北	
東 141° 11' 22"	南 42° 20' 59"	Km	Km	Km <sup>2</sup> 212.21
西 140° 58' 15"	北 42° 33' 13"	18.5	22.6	